

## パソコン部で地域のよさを発見し広めていく取組の実践例

—「関の特産品～すごさの発見！すばらしさの宣伝！」の取組を通して—

岐阜県関市立桜ヶ丘中学校 教諭 遠藤 和弘

p89559@gifu-net.ed.jp

キーワード：パソコン部、ICT、地域、課題解決学習

### 1. はじめに

桜ヶ丘中学校パソコン部では、生徒の活躍を取り材しホームページで紹介するという取組を行っている。紹介する内容は、体育大会や校外学習などの学校行事、生徒集会などの様々な集会、資源回収などのボランティア活動についてである。その結果、学校の様子や生徒のがんばる姿を見た保護者や地域の方からの温かい声や励ましの声が届けられるようになった。

この取組を発展させ、地域にも目を向け、地域の良さを発見し広めていく取組も始めた。その中で、部員たちが地域への愛着を深め、地域を誇りに思うようになっていくことを目指した。

### 2. 今までの取組概要

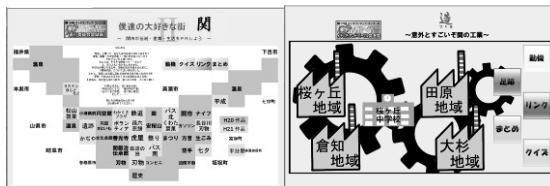
平成17年度は、部員それぞれの興味関心に応じてテーマを決めて行った。関市の上水道や下水道、畜産などについて調べ、ホームページにまとめた。

平成18年度は、関市の伝統産業である刃物について部員全員で取り組んだ。関市の刃物に関する様々な疑問について、地元企業や岐阜県刃物会館、関市役所の担当の方々に取材をしたり、関鍛冶伝承館で刀や刃物の歴史について調べたりして解決した。その中で、分かったことをホームページにまとめた。

平成19年度は、関市の環境問題について部員全員で取り組んだ。環境について、事前に図書館の本などで調べて疑問をはっきりさせた。その後、取材先を考え、説明を聞いたり質問をしたりして、分かったことをまとめた。最後に関市の環境に対して自分たちができる事を考えた。それらをホームページにした。

平成20年度21年度は、関市をPRしようというテーマで、部員一人ひとりがPRするものを決め、どうPRするか考えて取材を行った。ホームページにまとめる中で、関市の多くのよさが明らかになった。

平成22年度は、関の工業の特徴について調べるというテーマで、部員全員で取り組んだ。校区内の100社を超える会社や工場に連絡を取り、そのうち46社で取材ができた。会社の紹介だけではなく、その会社の1番すごいところや、中学生への思いも取材して、ホームページにまとめた。



画像1 H21、H22 のホームページのトップ画面

### 3. 本年度の取組内容

#### (1) テーマづくり（4月）

昨年、第30回全国豊かな海づくり大会を記念し「黒からあげ」が、ご当地グルメとして作られたことを部員の話から知り、他にも関の特産品があるので



はないかと考え調べてみた。写真1 黒からあげ

調べてみると、見聞きしたことのない特産品がいくつもあることに部員全員が驚き、今年は「関の特産品」について調べていきたいと話し合った。

#### (2) テーマの具体化（5月）

昨年度、関の工業について直接工場や会社に取材して、高い精度が求められるロケットや人工衛星のねじを作る工場、海外や大企業から注文が来る信頼性の高い会社、少量でも注文されたものはしっかりと作る会社があり、そのすごさを実感した。また、刀鍛冶の伝統を現在まで受け継いで発展させてきたことがとてもすばらしいことだと納得できた。

今年度も直接会社やお店に取材に行き、その中ですごいところやすばらしいところを発見していくことにした。そして、発見したことをより多くの人に広めていきたいと考えた。

そこで、部長を中心に全員で話し合い、今年度のテーマを「関の特産品～すごさの発見！すばらしさの宣伝！」と決定した。

#### (3) 事前学習（6月）

たくさんある特産品の中から、部員数と地域のバランスを考えて16品目調べることとし、担当（2・3人ずつ）を話し合って決めた。

ホームページや関市役所から送ってもらったパンフレット、日々に配られる無料の広報誌などから、事前学習を行った。

同時に、6月に行われた「せき海づくり一周年記念フェスタ（ご当地グルメ大会）」に行き、自分の担当の特産品を食べ、可能な限りお店の人から話を聞いた。



写真2 ご当地グルメ大会

